

県立5病院の概要

第1回 千葉県立病院経営改革検討会議

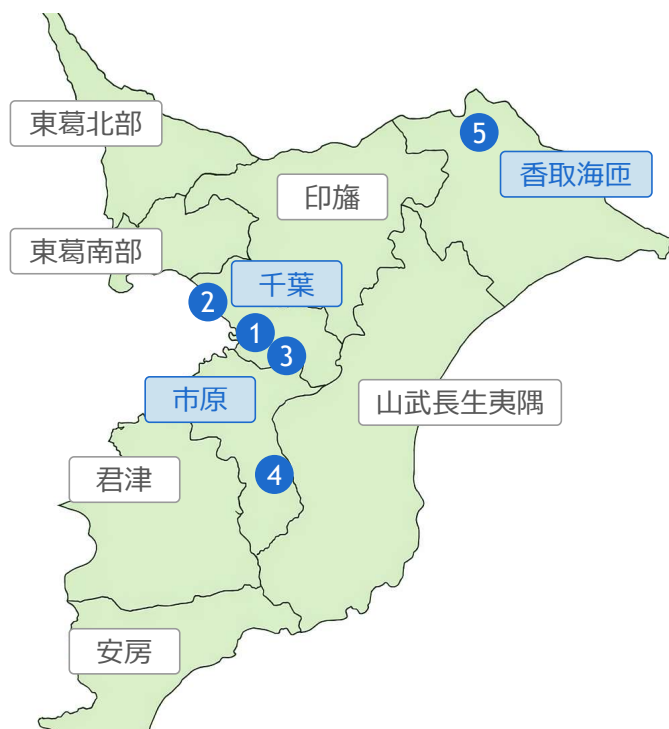
2026/2/3



千葉県では千葉、市原、香取海匝の3医療圏に計5つの病院を保有

県立5病院の立地と概要

千葉県の二次医療圏マップ



県立病院一覧

① 千葉県がんセンター (450床)



県内におけるがん対策の中心的役割を担う病院として昭和47年に開設。県内全域から患者を受け入れ、がん専門病院として質の高いがん医療を効率的に提供。

② 千葉県総合救急災害医療センター (150床)



県全域を対象に重症患者の救命救急措置を行う救命救急センター。県立の救急医療センターと精神科医療センターを統合して、令和5年に開設。

③ 千葉県こども病院 (218床)



一般の医療機関で対応が困難な新生児疾患や重度小児疾患等の治療等に対応し、本県における小児医療の中核的役割を担う小児総合医療施設として昭和63年に開設。

④ 千葉県循環器病センター (220床)



全県を対象とした循環器系疾患等に関する高度専門医療の提供と併せて、市原及び山武・長生・夷隅医療圏における地域医療の提供を目的として、平成10年に開設。

⑤ 千葉県佐原病院 (199床)



昭和30年、戦後荒廃したわが国の医療機関の充実を図り、公的医療機関を速やかに整備することを目的とした医療機関整備計画に基づき、地域の中核的な病院として開設。

がんセンター検討資料

第2回 千葉県立病院経営改革検討会議

2026/3/12



1) 病院概要

がんセンターは、高度専門医療・研究・人材育成を提供する、県のがん対策中核病院

がんセンターの概要



沿革

沿革・基盤

- 県内がん対策の中心的役割を担う専門病院として1972年に開設
- 2020年には病院建替と増床を行い、最新医療機器の導入やロボット手術体制の強化など、現在の医療ニーズに対応した高度がん医療基盤を整備

地域における役割

- 全県から患者を受け入れる都道府県がん診療連携拠点病院として、高度専門医療、がんゲノム医療、緩和ケア、治験・臨床研究を提供
- 研修や連携協議会を通じ、地域医療機関のがん診療機能強化を牽引

病院名	千葉県がんセンター	開設年月日	昭和47年11月1日
所在地	〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2 (TEL)043-264-5431		
敷地面積 m ²	59,229		
建物面積 m ²	63,097(うち病院等:54,849 宿舎等:6,270 その他:1,978)		
病床数 床	450(うち一般:450) ※実働404		
看護配置	7:1	急性期看護補助体制(看護補助者5割未満)	25:1
指定医療機関の種類	健保、国保、労災、自立(精神)、身障、生保、結核、原爆、母保、特定、小慢、救急		

患者数¹

入院患者数

- 新入院患者9,566人
- 1日平均318人

外来患者数

- 新外来患者7,147人
- 1日平均596人

職員数¹

医師数

- 正規 101名
- 会計年度 38名

看護職員数

- 看護師/補助 479/1名

他コメディカル数

- 薬剤師 32名
- 検査/放射線技師 51/32名
- PT/OT/ST 4/1/1名

事務職員数 21名

総数 745名²

診療科体制

内科系

- 呼吸器内科、消化器内科、内視鏡科、循環器内科、腫瘍・血液内科、緩和医療科

外科系

- 呼吸器外科、乳腺外科、脳神経外科、食道・胃腸外科、肝胆膵外科、頭頸科、泌尿器科、整形外科、婦人科、形成外科、歯科

その他

- 放射線治療部、核医学診療部、遺伝子診療科、精神腫瘍科、漢方外来、ハイパーサーミア

1. R6年度実績値 2. 記載以外の職種を含む

Source: 千葉県立病院経営強化プラン<令和7年度～令和10年度>, 千葉県病院事業R6年度決算及び事業報告書

1) 病院概要

2度の増築、2020年の新病院開院を経て開設54年目

がんセンターの沿革詳細

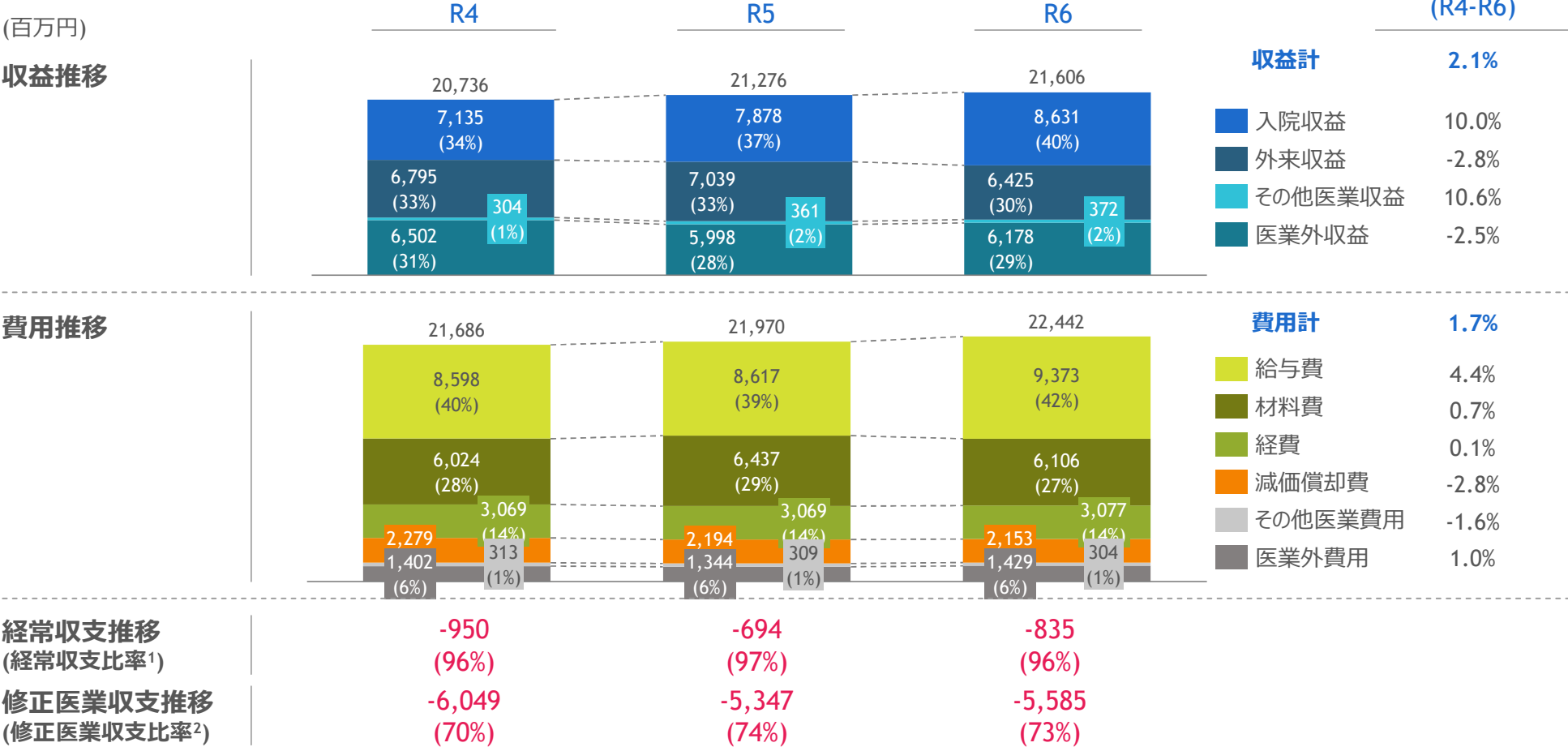
年月	沿革
1972年11月	千葉県がんセンター開院
1991年7月	東病棟増築
2006年4月	電子カルテ稼働
2006年8月	都道府県がん診療連携拠点病院に指定
2007年4月	日本医療機能評価機構認定（ver.5）
2011年7月	手術支援ロボット導入
2013年11月	事務研修棟増築
2018年4月	がんゲノム医療連携病院に指定

年月	沿革
2018年10月	がん治療と緩和ケアが統合された施設として欧州臨床腫瘍学会（ESMO）認定
2019年9月	がんゲノム医療拠点病院に指定
2019年11月	小児がん連携病院に指定
2020年10月	新病院開院
2022年3月	ISO 15189認定

2) 収支実績

人件費の伸びが大きいが、入院医業収益も伸びトータルでは収支改善傾向

直近3か年の収支推移 (出典：R4-R6年度_千葉県病院事業決算)

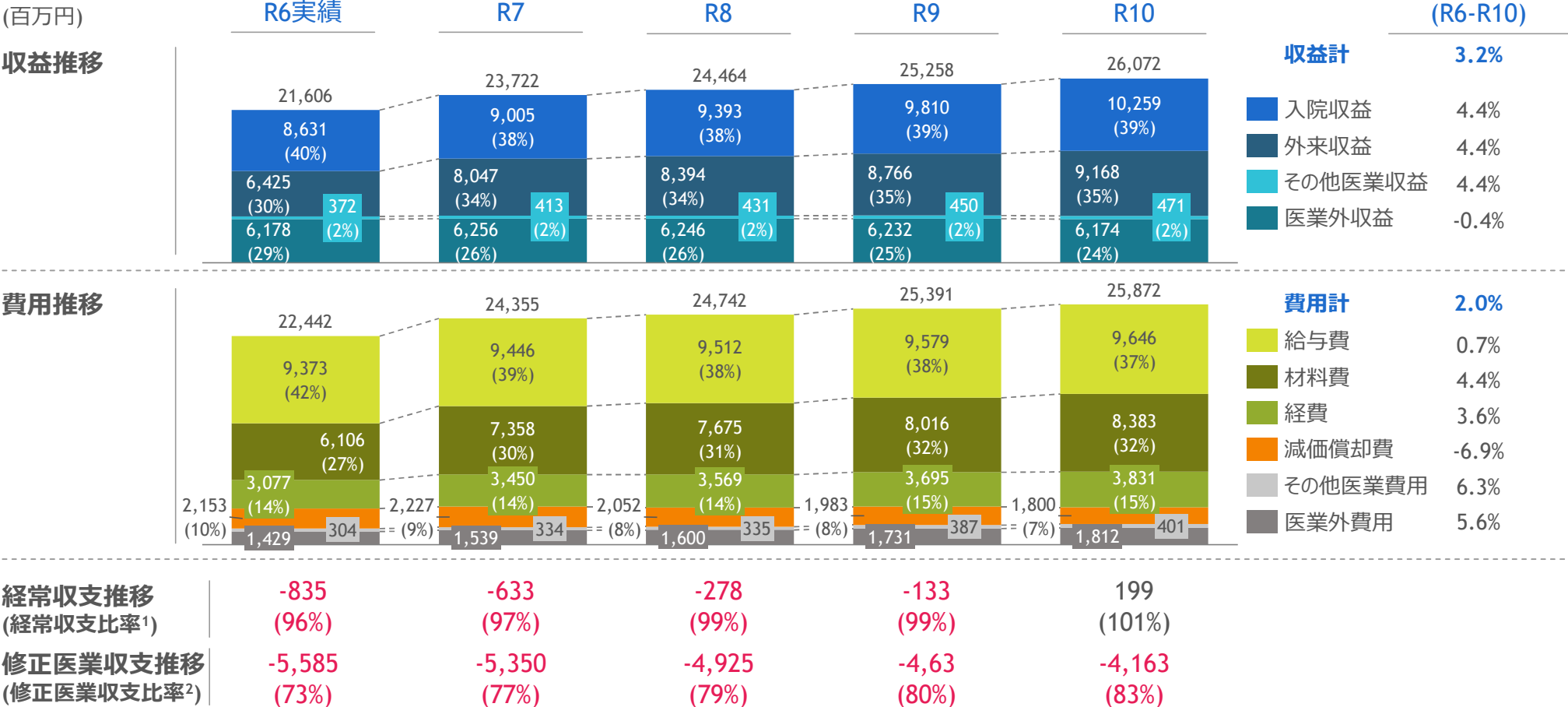


1. 経常収益 ÷ 経常費用。経常収益は収益合計-特別利益、経常費用は費用合計-特別損失で算出。2. 修正医業収益 ÷ 医業費用
 Source: 病院事業決算及び事業報告書 (R4,R5,R6)

3) 今後の収支計画

R10年度の黒字化を目標とするが、医業収益と給与費の伸び率は注視する必要

損益収支計画 (出典：R6年度_千葉県病院事業決算、千葉県病院経営強化プラン)

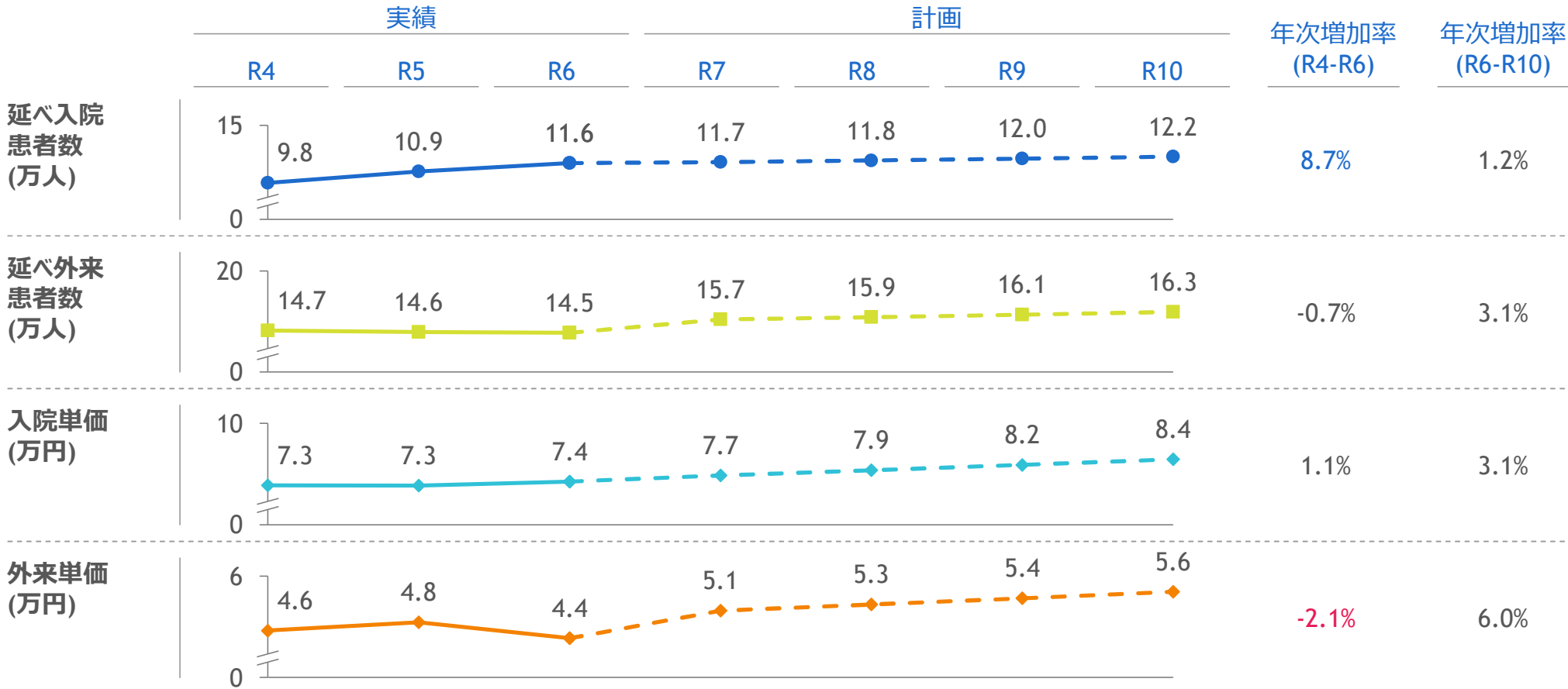


1. 経常収益÷経常費用。経常収益は収益合計-特別利益、経常費用は費用合計-特別損失で算出。2. 修正医業収益÷医業費用
 Source: 病院事業決算及び事業報告書 (R6), 千葉県立病院経営強化プラン<令和7年度~令和10年度>

4) 患者数、単価推移

入院は堅調に推移する一方、外来単価の計画値は実現性を慎重に見極める必要

患者数、単価推移 (出典：R4-R6年度_千葉県病院事業決算、千葉県病院経営強化プラン)



Source: 病院事業決算及び事業報告書 (R4,R5,R6), 千葉県立病院経営強化プラン<令和7年度~令和10年度>

千葉県立病院経営改革の方向性検討

内的要因

効率的な運営ができていますか?

- 人員配置や業務プロセス（例：ベッドコントロール）は最適化されているか?
- 手術・検査、救急対応は十分に効果的に受け入れられているか?

外的要因

担うべき役割を果たしていますか?

- 地域医療や公的責務を十分に果たしているか?
- 医療の高度化、地域需要の変化などの外部環境変化に十分対応できているか?

総合救急災害 医療センター検討資料

第2回 千葉県立病院経営改革検討会議

2026/3/12



1) 病院概要

総合救急は、身体・精神の両面に対応する全国的にも先進的な救急医療拠点

総合救急災害医療センターの概要



病院名	千葉県総合救急災害医療センター	開設年月日	令和5年11月1日
所在地	〒261-0024 千葉市美浜区豊砂 6-1 (TEL)043-239-3333		
敷地面積 m ²	37,639.00		
建物面積 m ²	22,244.90 (うち病院等:20,908.47 精神保健福祉センター:1,336.43)		
病床数 床	150 (うち一般:100、精神:50)		
看護配置	7:1	急性期看護補助体制 (看護補助者 5割未満)	25:1
指定医療機関の種類	健保、国保、労災、自立(更生)、自立(精神)、身障、生保、精保、医療観察法、結核、原爆、公害、特定、救急		

沿革

沿革・基盤

- 救命救急・高度救命救急を担ってきた救急医療センターと、県内精神科救急の中核である精神科医療センターを統合し、2023年11月に開院
- 身体・精神の両面に対応する全国的にも先進的な救急医療拠点として一体整備

地域における役割

- 県全域を対象に、24時間365日体制で重症救急・精神科救急・災害医療を担う「最後の砦」として**救命救急センター、高度救命救急センター、災害拠点病院に指定**
- ハイブリッドERやヘリポートを活用した迅速な救命対応に加え、災害拠点病院としてDMAT・DPATを同時運用し、大規模災害時にも包括的医療を提供

患者数¹

入院患者数

- 新入院患者3,072人
- 1日平均134人

外来患者数

- 新外来患者1,075人
- 1日平均134人
- 救急28人
- 精神106人

職員数¹

医師数

- 正規 40名
- 会計年度 24名

看護職員数

- 看護師/補助 257/0名

他コメディカル数

- 薬剤師 13名
- 検査/放射線技師 18/12名
- PT/OT/ST 5/7/2名

事務職員数 15名

総数 397名²

診療科体制

内科系

- 循環器内科、脳神経内科

外科系

- 外科、脳神経外科、心臓血管外科、整形外科、形成外科、集中治療科、麻酔科、救急治療科

その他

- 精神科

1. R6年度実績値 2. 記載以外の職種を含む

Source: 千葉県立病院経営強化プラン<令和7年度～令和10年度>, 千葉県病院事業R6年度決算及び事業報告書

1) 病院概要

1980年に救急・精神の専門病院として各々開設、2023年に統合し新病院として再スタート
 総合救急災害医療センターの沿革詳細

年月

救急医療センター



精神科医療センター



1980年4月 三次救急医療施設として千葉県救急医療センターが開院

日本で最初の精神科救急に特化した病院として開院

1994年6月 高度救命救急センターに認定

-

1996年8月 災害拠点病院に指定

-

1998年4月 -

千葉県精神科救急医療システムが発足し基幹病院に指定

2002年5月 -

精神科救急入院料の届出が受理

2017年3月 施設の老朽化、狭隘化等に伴い、「千葉県救急医療センター・精神科医療センターの一体的整備に係る基本計画」が策定

2021年3月 総合救急災害医療センター建設工事が開始

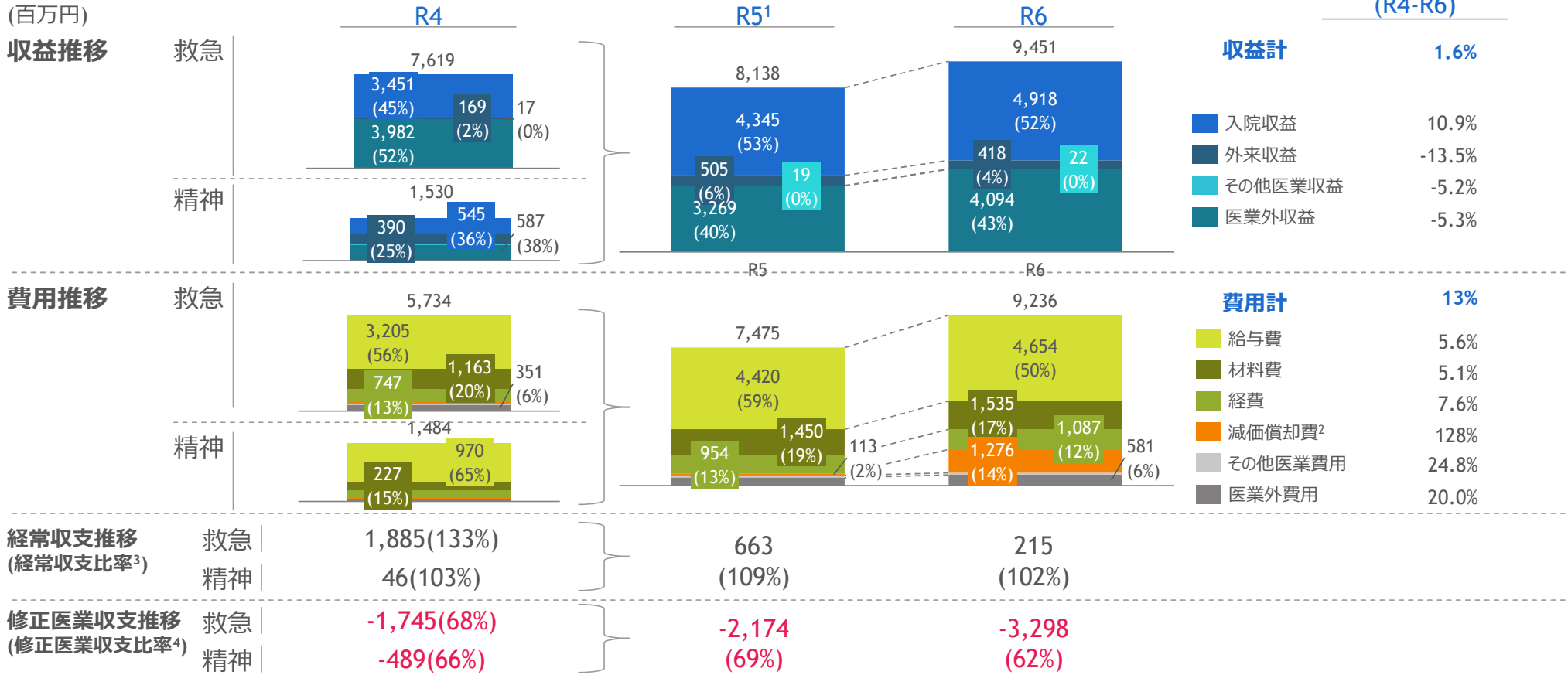
2023年6月 総合救急災害医療センター建設工事が竣工
 11月 千葉県総合救急災害医療センターが開院

Source: 病院HP

2) 収支実績

統合後は償却費が増加したが入院収益も増加し、R6年度純利益は黒字

直近3か年の収支推移 (出典：R4-R6年度_千葉県病院事業決算)



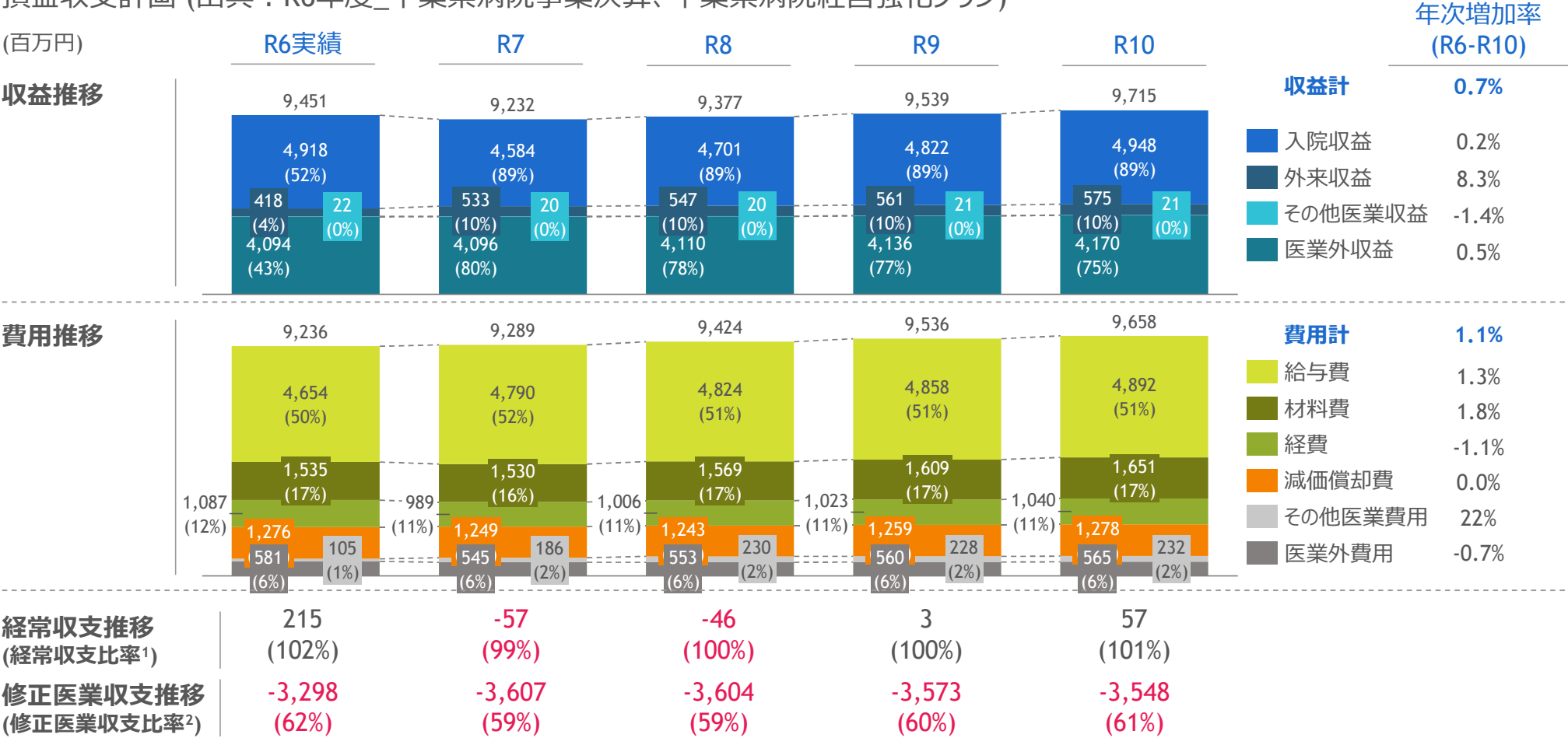
1. R5年は救急医療センター・精神科医療センターのR5/4-10分の実績と総合救急のR5/11-R6/3分を加えた数値 ; 2. R5償却費は新病院の分が殆ど含まれておらず、実際は10億円程と見込まれる
 3. 経常収益÷経常費用。経常収益は収益合計-特別利益、経常費用は費用合計-特別損失で算出 ; 4. 修正医業収益÷医業費用
 Source: 受領資料 病院事業決算及び事業報告書(R4,5,6)

3) 今後の収支計画

R10年度まで収支均衡維持を見込むが、医業収益と給与費の伸び率は注視する必要

損益収支計画 (出典：R6年度_千葉県病院事業決算、千葉県病院経営強化プラン)

(百万円)

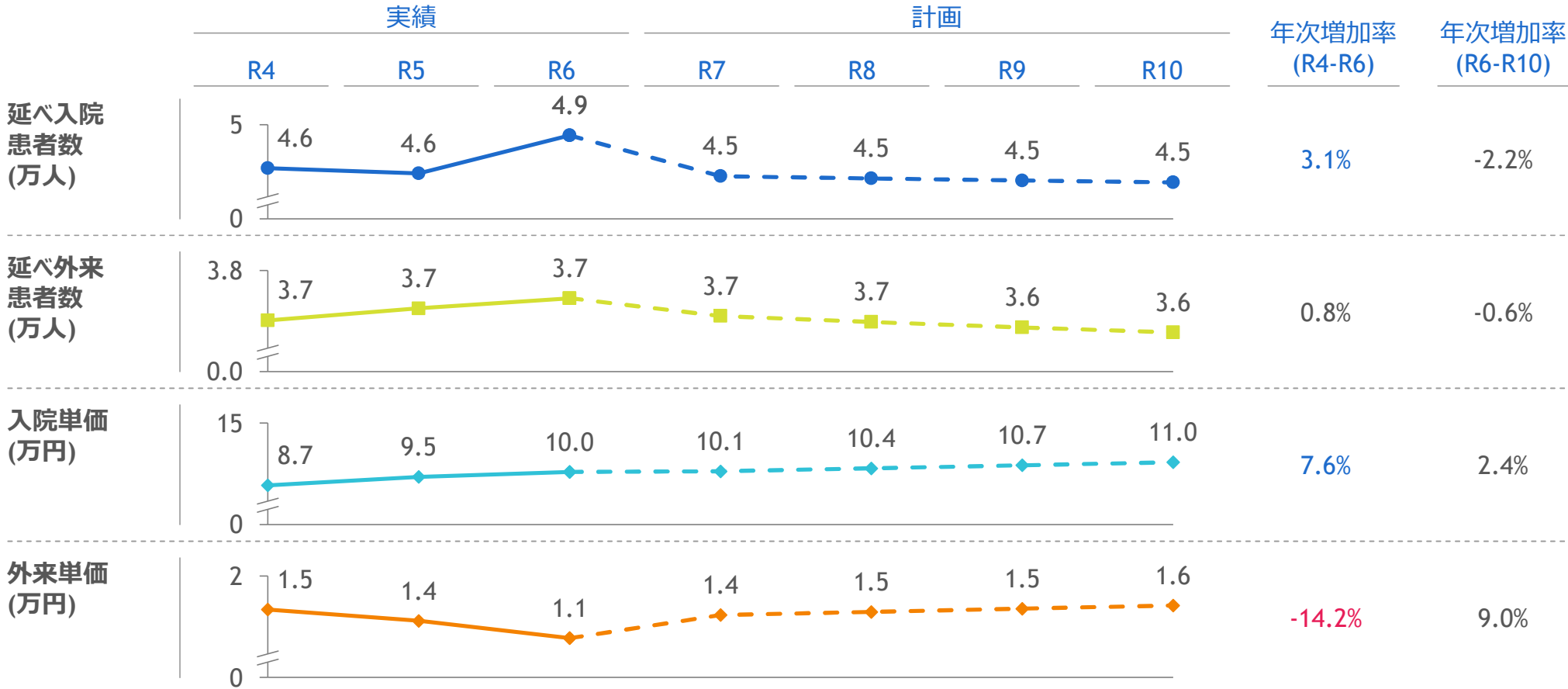


1. 経常収益÷経常費用、経常収益は収益合計-特別利益、経常費用は費用合計-特別損失で算出。2. 修正医業収益÷医業費用
 Source: 病院事業決算及び事業報告書 (R6), 千葉県立病院経営強化プラン<令和7年度~令和10年度>

4) 患者数、単価推移

入院は患者数・単価ともに堅調、外来単価は下振れ傾向

患者数、単価推移 (出典：R4-R6年度_千葉県病院事業決算、千葉県病院経営強化プラン)



Source: 病院事業決算及び事業報告書 (R4,R5,R6), 千葉県立病院経営強化プラン<令和7年度~令和10年度>

千葉県立病院経営改革の方向性検討

内的要因

効率的な運営ができていますか?

- 人員配置や業務プロセス（例：ベッドコントロール）は最適化されているか?
- 手術・検査、救急対応は十分に効果的に受け入れられているか?

外的要因

担うべき役割を果たしていますか?

- 地域医療や公的責務を十分に果たしているか?
- 医療の高度化、地域需要の変化などの外部環境変化に十分対応できているか?

こども病院検討資料

第2回 千葉県立病院経営改革検討会議

2026/3/12



1) 病院概要

こども病院は、県内小児医療の「最後の砦」として専門医療と地域連携を担う中核拠点

こども病院の概要



病院名	千葉県こども病院	開設年月日	昭和63年10月1日
所在地	〒266-0007 千葉市緑区辺田町579-1 (TEL)043-292-2111		
敷地面積 m ²	48,779		
建物面積 m ²	26,936(うち病院等:21,374 宿舎等:5,154 その他:409)		
病床数 床	218(うち一般:218) ※実働204		
看護配置	7:1	急性期看護補助体制(看護補助者5割以上)	25:1
指定医療機関の種類	健保、国保、生保、育成、養育、特定、小慢、精保、更生		

沿革

患者数¹

職員数¹

診療科体制

沿革・基盤

- 一般医療機関では対応困難な新生児疾患・重度小児疾患に対応する小児総合医療施設として1988年に開設
- 高度専門医療を紹介制で提供し、専門医によるチーム医療、移植医療や指定難病診療、周産期・小児がん分野の中核機能を有する

地域における役割

- 県全体の小児三次救急を担う小児医療連携拠点病院として、二次救急の後方支援、人材育成、研究を推進
- 地域医療支援病院として医療機関連携を強化し、こども・家族支援センター等を通じ、受診前から退院後・在宅まで一貫した小児医療・生活支援を提供

入院患者数

- 新入院患者3,947人
- 1日平均125人

外来患者数

- 新外来患者5,628人
- 1日平均326人

医師数

- 正規 44名
- 会計年度 51名

看護職員数

- 看護師/補助 344/0名

他コメディカル数

- 薬剤師 24名
- 検査/放射線技師 22/12名
- PT/OT/ST 3/1/3名

事務職員数 16名

総数 489名²

小児内科系

- 感染症科、内分泌科、代謝科、血液・腫瘍科、腎臓科、アレルギー・膠原病科、循環器内科、神経内科

小児外科系

- 小児救急総合診療科、集中治療科、小児外科、整形外科、脳神経外科、眼科、耳鼻咽喉科、形成外科、泌尿器科、心臓血管外科、皮膚科、麻酔科、歯科

小児系その他

- 新生児科、リハビリテーション科、病理診断科、遺伝科、精神科

1. R6年度実績値 2. 記載以外の職種を含む
Source: 千葉県立病院経営強化プラン<令和7年度～令和10年度>, 千葉県病院事業R6年度決算及び事業報告書

1) 病院概要

病棟や診療科体制を随時拡大し、開設39年目

こども病院の沿革詳細

年月	沿革
1988年 10月	千葉県こども病院開院
1989年 4月 5月	小児科（腎臓）、ICU、院内学級を新設 ICU、7階病棟を開棟
1990年 4月	NICU、6階病棟を開棟
1992年 2月	第2看護宿舎完成
1997年 11月	一般病床を3床増床（病床：200床→203床）
1998年 4月	6階西病棟を開棟
2000年 4月	アレルギー科を開設 慢性疾患児家族宿泊施設かるがもはうすをオープン
2002年 4月	小児救急医療科を開設
2004年 12月	地域医療支援病院の承認

年月	沿革
2006年 4月	地域医療連携室を開設
2008年 4月	電子カルテシステムを導入 臨床工学科を開設
2009年 4月	こども・家族支援室を開設
2011年 4月 12月 -	DPC対象病院となる 周産期病棟を増築 一般病床を1床増床（病床：203床→204床）
2012年	産科病棟・周産期センターを開棟、産科を開設 一般病床を20床増床（病床：204床→224床）
2013年 4月	リハビリテーション科、放射線治療科を開設
2014年	救急科、新生児内科、病理診断科を開設 救急医療機関に認定及び告示
2016年 3月	病院情報システム（電子カルテシステム）を更新
2020年 10月	一般病床を6床減床（病床：224床→218床）

Source: 病院HP

2) 収支実績

外来収益は伸びているが、医業外収益減少と人件費増加により純損益は悪化傾向

直近3か年の収支推移 (出典：R4-R6年度_千葉県病院事業決算)

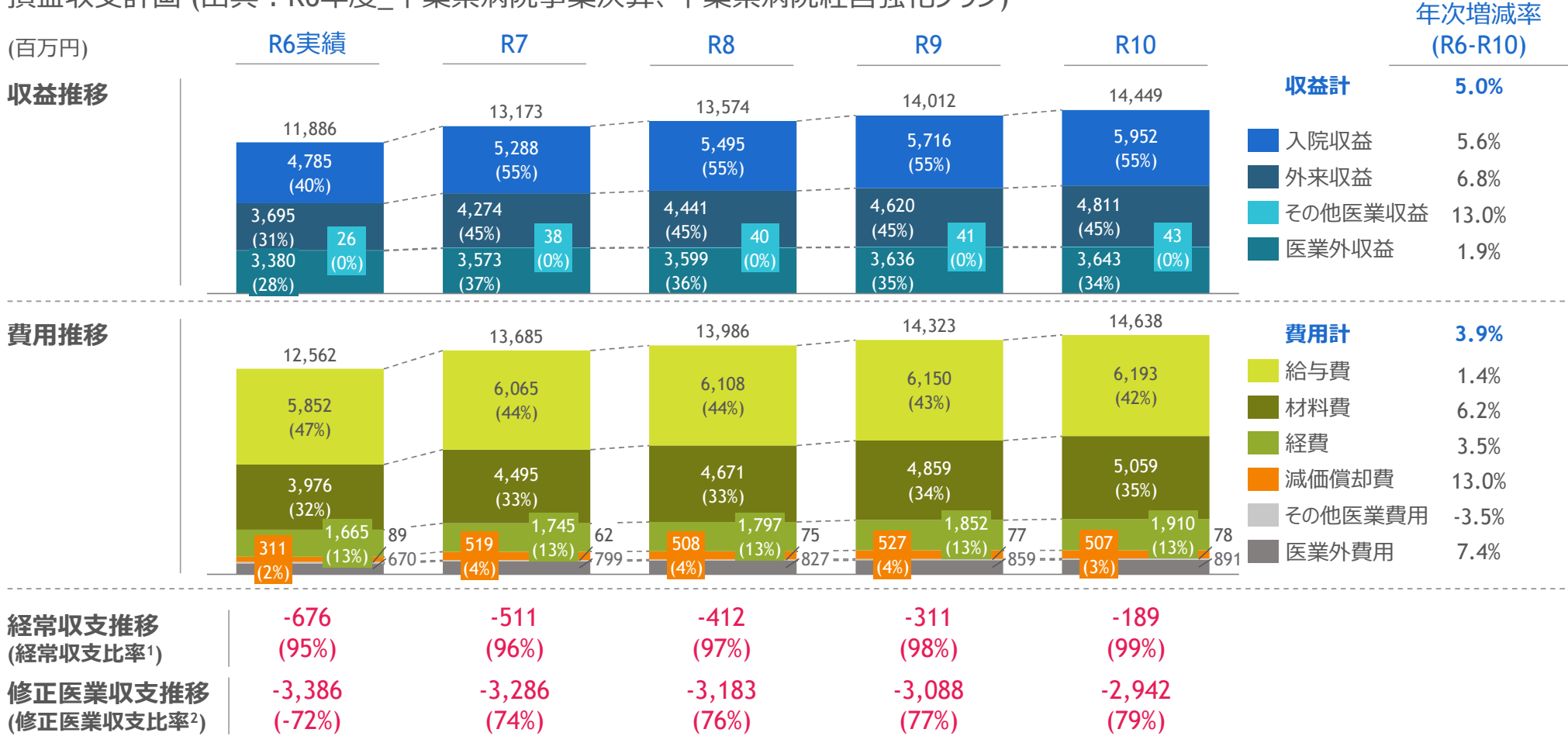


1. 経常収益÷経常費用。経常収益は収益合計-特別利益、経常費用は費用合計-特別損失で算出 2. 修正医業収益÷医業費用
Source: 病院事業決算及び事業報告書 (R4,R5,R6)

3) 今後の収支計画

順次利益改善を目標とするが、R10年度までの収支均衡は難しい

損益収支計画 (出典：R6年度_千葉県病院事業決算、千葉県病院経営強化プラン)

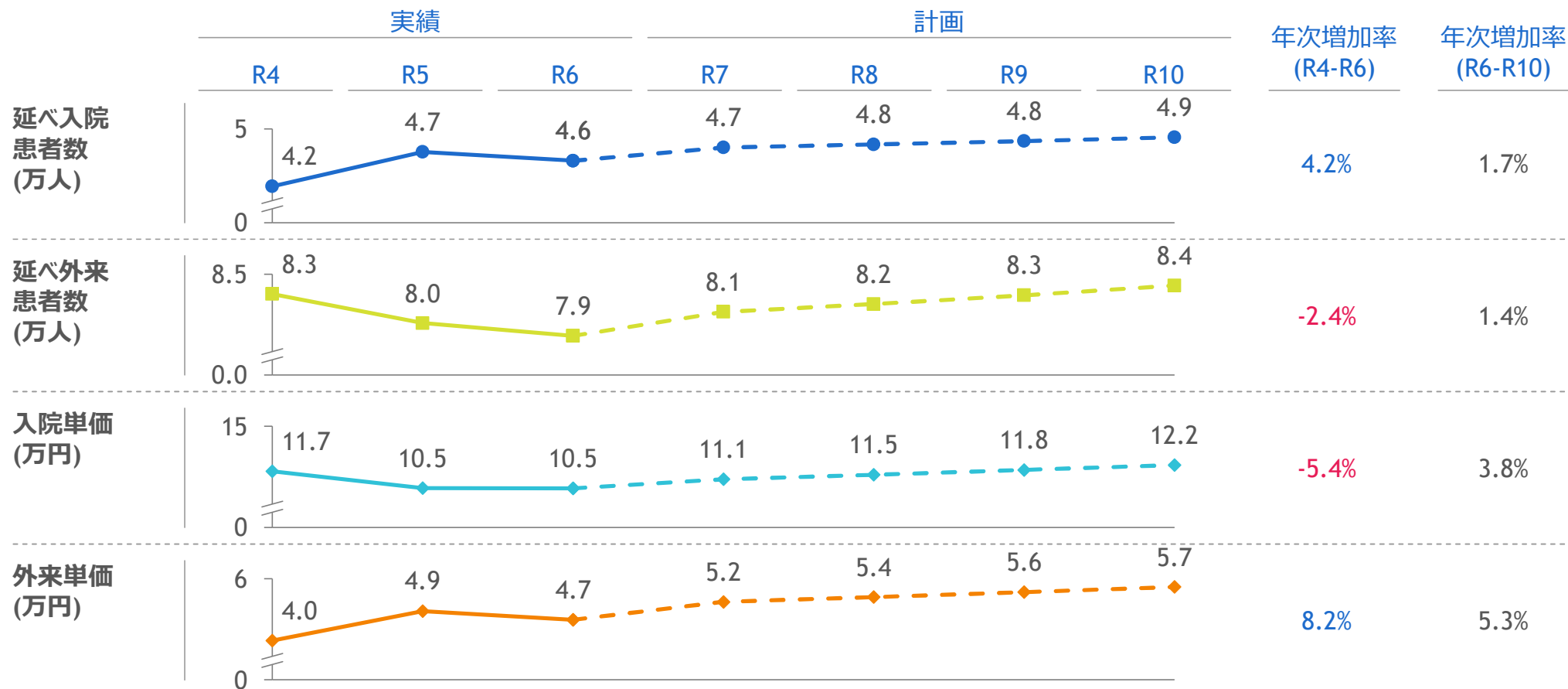


1. 経常収益 ÷ 経常費用。経常収益は収益合計-特別利益，経常費用は費用合計-特別損失で算出。2. 修正医業収益 ÷ 医業費用
 Source: 病院事業決算及び事業報告書 (R6), 千葉県立病院経営強化プラン<令和7年度～令和10年度>

4) 患者数、単価推移


外来患者減少と入院単価低下が見られる一方、入院患者数・外来単価は概ね計画線上

患者数、単価推移 (出典：R4-R6年度_千葉県病院事業決算、千葉県病院経営強化プラン)



Source: 病院事業決算及び事業報告書 (R4,R5,R6), 千葉県立病院経営強化プラン<令和7年度～令和10年度>

千葉県立病院経営改革の方向性検討



内的要因

効率的な運営ができているか?

- 人員配置や業務プロセス（例：ベッドコントロール）は最適化されているか?
- 手術・検査、救急対応は十分に効果的に受け入れられているか?

外的要因

担うべき役割を果たしているか?

- 地域医療や公的責務を十分に果たしているか?
- 医療の高度化、地域需要の変化などの外部環境変化に十分対応できているか?